

## 《児童アンケート結果より》

今年度は新型コロナウイルス感染症の防止のため、制限された中での教育活動になり、予定されていた行事や校外学習等も実施できないものもたくさんあった1年でした。しかしながら、子どもたちはそんな状況の中においても、今自分たちにできることを考えながら学校生活を楽しんでいたように思われます。今年度のアンケート結果もわかるように、ほとんどの項目で9割を超える児童が「よくできた」「まあまあできた」と肯定的な回答で、子どもたちの生活が安定していると考えられます。

### 【地域（まち）や家での生活について】

「① 家の人や地域の人に挨拶をしている。」という項目では、「よくできた」「まあまあできた」の合計は93%で、年々挨拶をする児童が増え、黄帽の着用も定着してきました。安全リーダーさんをはじめ少年補導委員さん、地域委員さんや保護者の方々のご協力の成果です。98%を示した「②交通ルールを守り、交通安全や不審者に気をつけている。」や、96%を示した「③家族とよく話をしている。」と合わせて、今後も大切に取り組んでいきたいと思えます。

「④家の手伝いをよくしている。」「⑤進んで整理・整頓をしている。」という項目については、例年「あまりできなかった」「できなかった」と回答する児童の割合が高いものの、全体の20%を下回り、「⑥忘れ物に気をつけ、宿題を最後までがんばっている」という項目については、昨年度に比べ大きく変化が見られました。肯定的な回答が93%となり、子どもたちの意識の高さをうかがえます。これらの項目については家庭と学校とが一緒になって取り組むことで、子どもたちをよりよく成長させることとなります。引き続き、ご協力をお願いします。

### 【学校生活について】

「⑦学校のきまりを守って生活している」の項目では、「よくできた」「まあまあできた」が、97%を示しました。ルールやマナーを守って生活する児童が多いことは、青山小学校の誇れるところです。学校で生活する上でお互いが気持ちよく過ごすことができるように、今後も引き続き指導を続けていきます。

「⑧進んで発表したり、楽しく話し合ったりしている。」については、密になるため話し合い活動等も制限されていたものの、肯定的な回答が85%を示し、これまで取り組んできた「学び合い」を取り入れた学習の成果が現れているものと考えております。しかしながら、「⑨先生の話をよく聞き、勉強がよくわかる」の質問では、7%の児童が「あまりできていない」と感じているという結果が出ています。この数字は重く受け止め、子どもたちの声や姿にしっかりと耳を傾け、目を配りながら一人ひとりが「わかる」「できた」を実感できるように指導してまいります。

「⑩道徳ではいつも真剣に考えている。」という項目では、「できている」と回答した児童が昨年より10%近く上回り、子どもたちの優しさや誠実さ等、人権意識の高さがうかがえます。校内での道徳週間や人権週間の取り組みだけでなく、「ふわふわの木」の活動などを通して、様々な生活場面で自分たちができることや人の役に立つこと等を考えて生活に生かしていけるように引き続き、学校も力を入れて取り組んで参ります。

「⑪困ったことがおきたら、先生や家の人に相談している」の項目では、肯定的な回答は86%でした。「マンスリーアンケート」「おしゃべり月間」をはじめ、子どもたちと対話を繰り返し、子どもたちの心の様子や変化について把握できる場を今後も定期的に設け、「何でも話せる学校、先生、学級、友達」づくりをめざして努力を重ねて参ります。